

パラグアイ内政・外交（２０２３年７月分）

政治情勢

1 内政

（１）新国会発足及びアブド大統領による年次報告

７月１日、２０２３年～２０２８年任期の新国会（上下院）が発足し、オベラル新上院議長及びラトレ新下院議長を含む、新執行部が就任した。

同日、アブド大統領は、自身の任期最後となる年次報告をオンラインで行った。年次報告では、５年間の自身の政権運営を振り返り、医療、道路インフラ、公共住宅、マクロ経済の安定性、好調な経済成長見通しなどにおける現政権の成果を強調した。上下院ともにカルテス派の議員が議長に選出されたことを受け、アブド大統領は、権力集中を避けるべきである旨発言し、直接名前を出すかたちではないものの、カルテス前大統領を暗に批判した。

（２）ガレアノ議員の罷免

７月２０日、かねてより資金洗浄及び国際犯罪組織から資金を受領した疑いがかけられていたガレアノ上院議員（カルテス派）に対する議員資格はく奪が上院の全会一致で可決された。ガレアノ議員は、新国会で罷免された初の国会議員となった。

（３）カルテス前大統領による政治的迫害の訴え

７月３０日、カルテス前大統領は、代理人であるオベラル弁護士を通じて、検察庁に対して、大統領選挙時を含め２０１８年以降受けてきたとする政治的迫害を行ってきた人物に対する公式の訴えを提出した。

オベラル弁護士は、２０１８年以降継続的なかたちで、複数の政治団体がカルテス前大統領に関する操作された情報を拡散し、同前大統領の政治生命を終わらせようとしたと説明。複数の国家機関と関係を持ち偽の情報を発信することで人々を欺き、とりわけ米国とブラジルを騙したことが、カルテス前大統領やカルテス・グループ企業に対する制裁及び訴訟につながったと述べた。

2 外交

（１）アブド大統領及びベニヤ次期大統領のメルコスール首脳会議出席

７月４日、アブド大統領及びベニヤ次期大統領は、アルゼンチンで開催されたメルコスール首脳会合に出席した。演説において、アブド大統領は、国際河川における河川交通の重要性和国際合意に基づく行動の重要性を強調するとともに、インフラ投資によりパラグアイが地域の鍵となるアクターであり続けるとの意思を示した。メルコスールの団結した行動を求めつつ、EU・メルコスール間の交渉プロセスの完結が重要である旨述べ、次期議長国となるブラジルへの期待を表明した。外交関係では、ベネズエラ情勢（選挙に際するマリア・

コリーナ・マチャド氏の公職就任資格はく奪)に懸念を表明するとともに、ボリビアのメルコスール正式加盟を支持する旨改めて表明した。

会合後、アブド大統領とともに首脳会談に参加していたペニャ次期大統領は、ルーラ大統領、フェルナンデス亜大統領及びラカジェ・ポウ・ウルグアイ大統領とそれぞれ会談した。

(2) マッタレッラ・イタリア大統領のパラグアイ訪問

7月6日～8日、マッタレッラ・イタリア大統領夫妻が、イタリア大統領として初めてパラグアイを公式訪問した。7日、マッタレッラ・イタリア大統領はアブド大統領と会談し、パラグアイとイタリアの間にある豊かな歴史とつながりについて確認するとともに、クリーンエネルギー分野を含む両国の協力強化について意見交換した。会談後、マッタレッラ大統領は国会を訪問し、オベラル新上院議長及びラトレ新下院議長とそれぞれ会談したほか、ペニャ次期大統領とも会談した。

8日、マッタレッラ大統領夫妻は、同行した娘とともにイタイプダムを訪問し、アブド大統領夫妻及びカセレス・イタイプ二国間公団総裁とともにイタイプダムを視察した。

(3) ペニャ次期大統領の UAE 及び台湾訪問

7月9日～16日の期間で、ペニャ次期大統領は UAE 及び台湾を訪問した。

UAE 訪問に際しては、7月11日にムハンマド大統領と会談し、貿易拡大や投資誘致、経済社会分野の協力等、二国間関係の更なる強化に向けた意見交換を行った。

台湾訪問に際して、7月12日、ペニャ大統領は蔡英文総統と会談し、66年を迎える両国の外交関係に基づく友好関係を新政権でも継続していく点を強調した。ペニャ次期大統領は、企業関係者とも面会したほか、台湾国立科学技術大学を訪問し、同大学に留学しているパラグアイ留学生とも交流した。

(4) アブド大統領のベルギー訪問

7月17日～18日、アブド大統領はベルギーを訪問し、「平和及び持続可能な開発の推進にむけた二地域間関係強化」をテーマとする第3回 EU・CELAC 首脳会合に出席した。両地域間の首脳レベルでの会合は8年ぶりの開催となった。

(5) 対米関係

7月17日、ペニャ次期大統領は私邸にてオストフィールド米国大使と面会した。面会后、ペニャ次期大統領は自身の SNS で「国際的なテーマに関する共通のビジョン及び両国間で築かれてきた歴史的な友好関係に基づき、両国間の協力について意見交換した」と述べた。

7月26日、オストフィールド米国大使はエステ市を視察し、米国はエステ市における麻薬及び人身売買対策の改善を検討する旨発言した。

7月27日、ペロン米国南部海兵隊部隊司令官がパラグアイを訪問し、ソト国防大臣及び

アルナルド・パラグアイ国軍総司令官とそれぞれ面会した。

7月30日、スミス米国下院軍事委員会委員長及びサル・カルバハル下院議員がパラグアイを訪問し、アブド大統領及びペニャ次期大統領とそれぞれ会談した。

（6）ペニャ次期大統領のブラジル訪問

7月26日～28日、ペニャ次期大統領は、ブラジルのサンパウロ及びブラジリアを訪問し、ルーラ大統領、フレイタス・サンパウロ州知事及びヌネス・サンパウロ市長とそれぞれ会談したほか、ゲトゥリオ・バルガス財団で講演会を行った。同訪問は、ペニャ次期大統領にとって大統領選挙当選後3回目の訪伯となった。

（了）